

4年 特養ホームでの交流

H.30.6.25 , H30.7.9

4年生は総合的な学習の時間の学習「地域の高齢者とふれあおう」で、地域にある「特別養護老人ホームいしばし」を訪問しました。2回の交流で、たくさんの高齢者とふれあいました。高齢者の方々も、子どもたちも笑顔になれた交流でした。今後は、交流で感じたことをもとに、福祉について更に深く考えていきます。



どちらの交流でもまず、歌やリコーダーの演奏をしました。1回目の交流では「ふるさと」(歌)、「聖者の行進」(リコーダー)、2回目の交流では「赤いやねの家」(歌)、「エーデルワイス」(リコーダー)を披露しました。あたたかい拍手をいただき、和やかな雰囲気での交流がスタートしました。ゲームでは、「すごろく」、「魚釣り」、「お手玉ゲーム」の3グループに分かれて交流しました。「すごろく」…おじいさん、おばあさんと交流できるようなマスを考え、一緒に楽しみました。「魚釣り」…1回目の交流では、釣った魚の点数で競うゲームを考え、盛り上がりました。2回目の交流では、魚釣りとおみくじを合体させ、お年寄りたくさんお話ができました。「お手玉ゲーム」…1回目はお手玉を投げて段ボールに入れるゲームや、わりばしで上手に運ぶゲームを考えました。2回目は的にお手玉を投げ入れるゲームを楽しんでもらえました。

1回目の交流では、もっと「かわり」を増やしたいという反省がたくさん出たため、2回目の交流ではたくさん関わられるようにルールなどを変更しました。2回の交流を経て、「喜んでもらえてよかった。」「もっとできることがあった。」と、福祉の扉を開いた4年生。今後も楽しみです。